



# 2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博） 営業参加 一次公募のご案内

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会

## 開催概要

### 2025年大阪・関西万博がめざすもの

- ✓ 持続可能な開発目標（SDGs）達成への貢献
- ✓ 日本の国家戦略Society5.0の実現

#### EXPO for SDGs

国連が掲げる「SDGs（持続可能な開発目標）」達成の目標年である2030年まで残り5年となる2025年は、

実現に向けた取り組みを加速するのに極めて重要な年です。

2025年に開催される大阪・関西万博は、SDGsを2030年までに達成するためのプラットフォームになります。



## 大阪・関西万博メッセージ



公式キャラクター  
愛称「ミyakミyak」

2025年4月13日、いよいよ。  
未来社会の体験にワクワクする184日が  
大阪・夢洲を舞台に始まります。



# 万博会場全景



## 開催概要

### テーマ

## いのち輝く未来社会のデザイン

Designing Future Society for Our Lives

### サブテーマ

**Saving  
Lives**

〈いのちを救う〉

**Empowering  
Lives**

〈いのちに力を与える〉

**Connecting  
Lives**

〈いのちをつなぐ〉

### コンセプト

## - People's Living Lab -

未来社会の実験場

- 1 展示をみるだけでなく、世界80億人がアイデアを交換し、未来社会を「共創」(co-create)。
- 2 万博開催前から、世界中の課題やソリューションを共有できるオンラインプラットフォームを立ち上げ。
- 3 人類共通の課題解決に向け、先端技術など世界の英知を集め、新たなアイデアを創造・発信する場に。

会場

夢洲(ゆめしま) (大阪市臨海部)

開催期間

2025年4月13日 (日) ~10月13日 (月)



## 会場デザイン

四方を海に囲まれた会場ロケーションを活かし、  
世界とつながる「海」と「空」に囲まれた会場



万博会場全景（夕景）

万博会場のシンボルとなる世界最大級の木造建築物  
大屋根（リング）



リング1F：グラウンドウォーク



屋外イベント広場



リング2F：スカイウォーク

## 公式キャラクター、オフィシャルテーマソング

公式キャラクター  
愛称「ミャクミャク」



### 「ミャクミャク」について

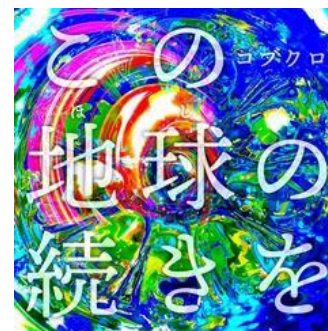
細胞と水がひとつになったことで生まれた、ふしぎな生き物。その正体は不明。赤い部分は「細胞」で、分かれたり、増えたりする。青い部分は「清い水」で、流れる様に形を変えられることができる【出生地】関西のどこかにある小さな湧水地。

【性格】人懐っこいが、おっちょこちょいでよくボカをする。

【特技】色々な形に姿を変えられること、雨上がりに虹を見つけること。

【好きなこと】あらゆる生き物や物事と触れ合うこと。

オフィシャルテーマソング  
「この地球（ほし）の続きを」



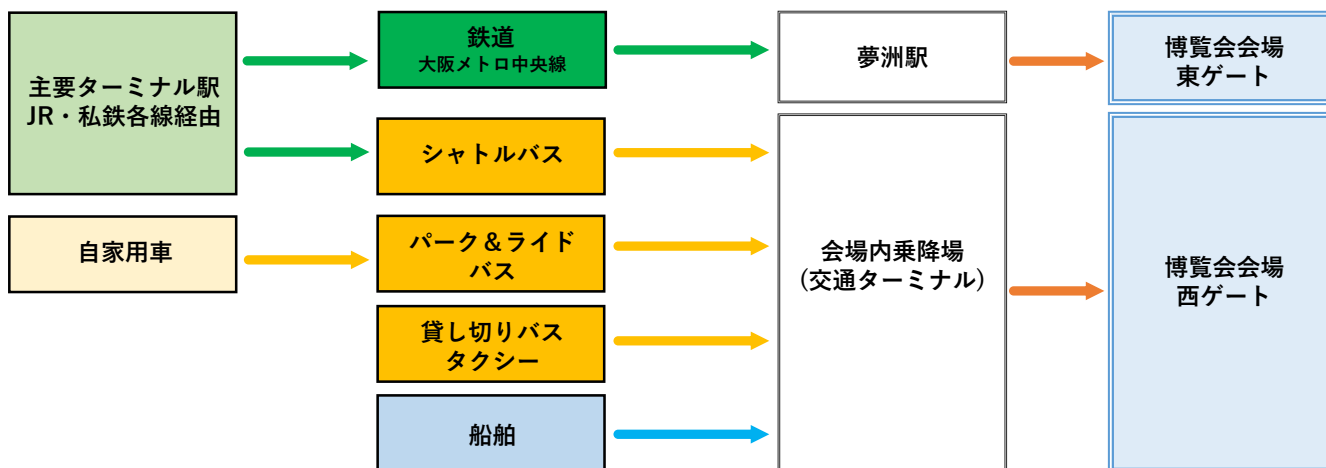
公式アンバサダーであるコブクロさんが大阪・関西万博のために書下ろしたオフィシャルテーマソングです。

協会HP オフィシャルテーマソング（ダンス動画・MV・歌詞等）  
<https://www.expo2025.or.jp/overview/themesong/>

## 会場までのアクセス



### 主なアクセスルート



※協会が特別に認めた場合を除き、万博会場に直接自家用車で来場することはできません。



# 会場内エリア案内と営業施設イメージ

## フューチャーライフゾーン・

### 風の広場・西ゲート広場エリア

開催地である日本・関西・大阪の食や品物を  
広域からの来場者を中心にPRするエリア

#### 【立地特性】

- ・ゲート、交通ターミナルなどのゲート機能近接
- ・屋外イベント広場近接
- ・未来を感じるフューチャーライフパーク近接

#### 【業態イメージ】

- ・日本、関西、大阪の店舗を中心に集約
- ・大阪の食集積や日本を代表する品物の物販店舗を配置

## ウォータープラザエリア

水辺に近いロケーションを活かした  
ゆったりとした時間を過ごすエリア

#### 【立地特性】

- ・ウォータープラザに隣接のロケーションであり、水上ショーの実施エリア
- ・海外パビリオン、シグネチャーパビリオンが近接

#### 【業態イメージ】

- ・水辺のロケーションとグルメを楽しめる飲食・物販店舗

フューチャーライフパーク

風の広場

西ゲート広場

ウォータープラザ

## 静けさの森エリア

会場中心の「静けさの森」や海外パビリオンに  
近接する未来を感じる食のエリア

#### 【立地特性】

- ・会場中心の「静けさの森」近接
- ・海外パビリオン、シグネチャーパビリオンが近接

#### 【業態イメージ】

- ・静けさの森隣接の立地で食の未来へ導く飲食店舗
- ・他エリアにはない未来の食を感じられる飲食店舗の集積

## 空の広場エリア

海外パビリオンと近接の立地を活かした

これからのダイバーシティを楽しむことができるエリア

#### 【立地特性】

- ・海外パビリオン・民間パビリオン・静けさの森近接
- ・会場を形成するリングに沿った建築

#### 【業態イメージ】

- ・海外パビリオン近接の周辺の雰囲気を取り込み、世界各国の飲食も楽しめる店舗の集積
- ・SDGsを意識した未来社会の実現に取り組む飲食・物販店舗

## 東ゲート広場エリア

万博に訪れる日本全国・各国の人々を招き入れる  
日本のゲート機能を持つエリア

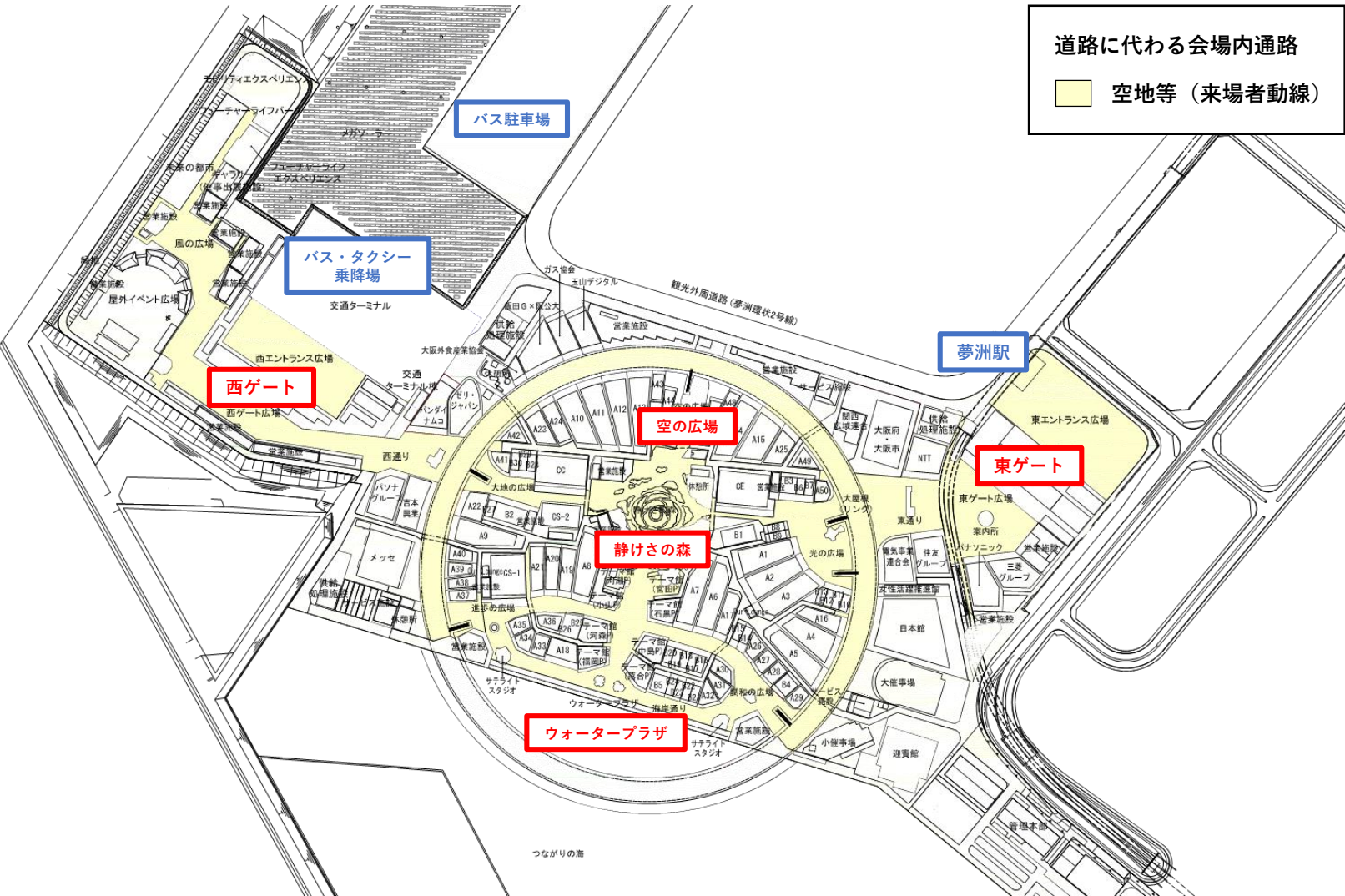
#### 【立地特性】

- ・来場者の多くが利用することが予想される大阪メトロ夢洲駅直結の東ゲート近接
- ・日本政府館、大阪ヘルスケアパビリオン、民間パビリオン近接

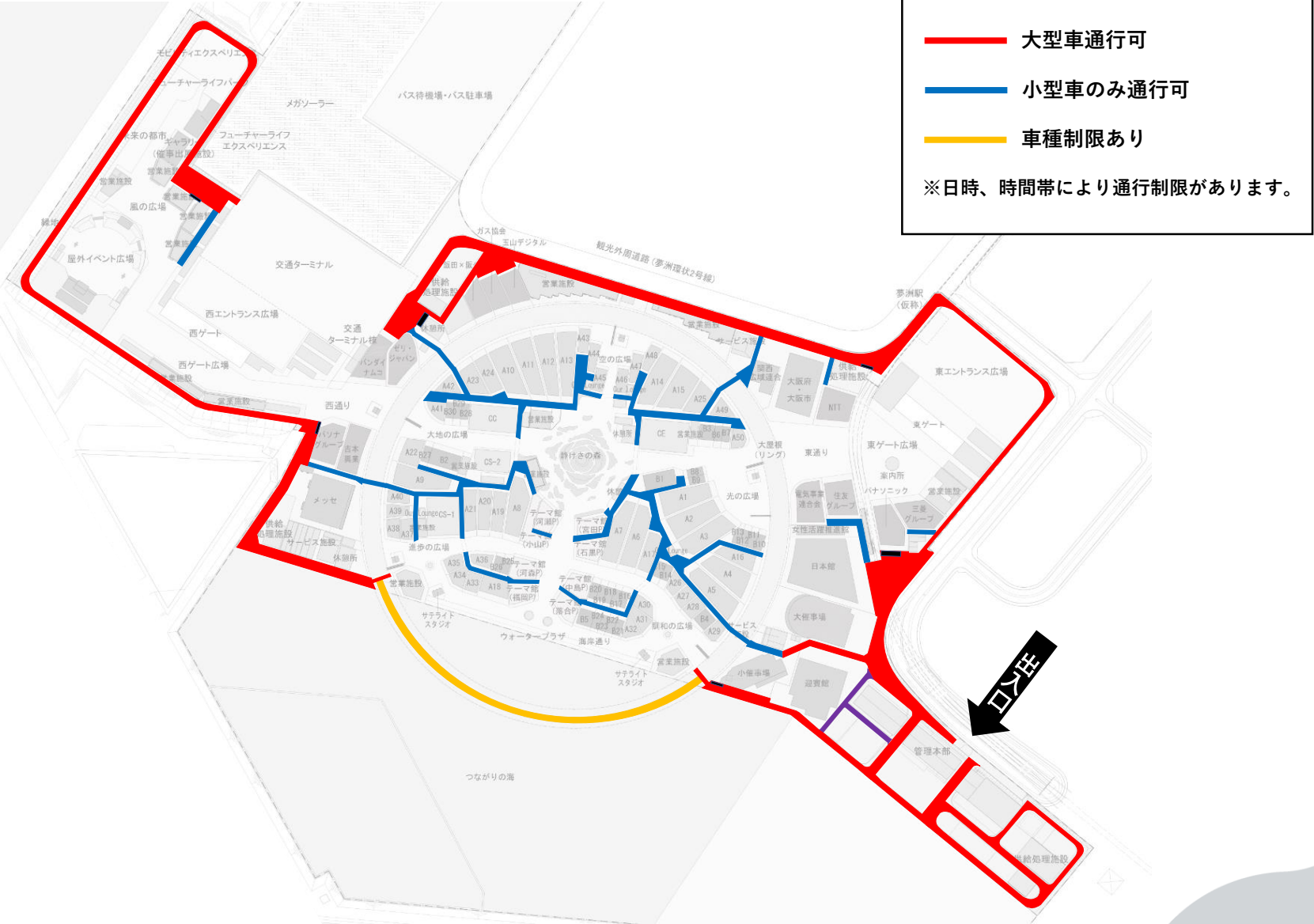
#### 【業態イメージ】

- ・JAPANマルシェを中心としたおもてなし感やウェルカム感のある物販・飲食店舗が集積
- ・東ゲート近接で入退場来場者のお土産需要を獲得

# 来場者動線

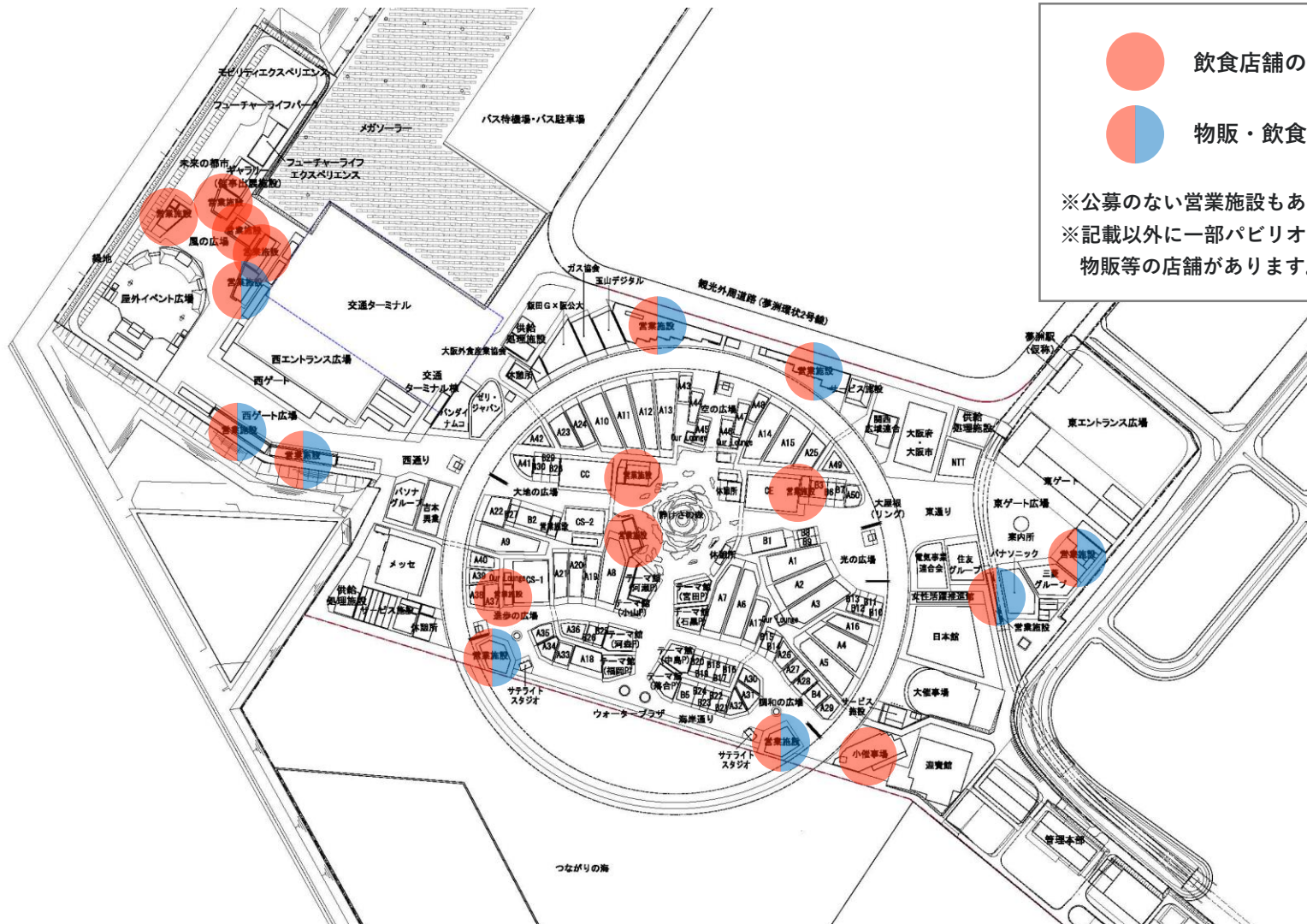


# 会場内車両動線（開場時間内）





## 会場内営業施設配置図



## 公募を行う営業施設の概要



### 飲食店舗

万博で大勢の来場者に対応できるラウンジ&ダイニング、レストラン／カフェテリア、フードコート、カフェ、ファストフード、キッチンカー等で構成します。

種類（カテゴリー）	総数	
	店舗数	店舗面積
ラウンジ&ダイニング	1	999.1㎡
レストラン／カフェテリア	10	3,639.3㎡
EARTH TABLE ～未来食堂～レストラン	6	651.1㎡
フードコート	3	2,908.2㎡
サスティナブルフードコート	1	1,913.2㎡
カフェ	10	2,496.9㎡
ファストフード	8	1,704.5㎡
キッチンカー	24	6 エリア
飲食店舗合計	63	14,312.3㎡



### 物販店舗

大阪・関西万博にふさわしい地域の品を取り揃えた物産店や、各種物販店舗、コンビニエンスストアを会場内に分散配置します。

種類（カテゴリー）	総数	
	店舗数	店舗面積
JAPANマルシェ	8	406.7㎡
KANSAIマルシェ	1	354.0㎡
各種ショップ	8	1,070.3㎡
コンビニエンスストア	4	647.3㎡
物販店舗合計	21	2,478.3㎡

※会場内には上記「営業参加店舗」以外の店舗（オフィシャルストア等）やパビリオン内の飲食・物販店舗等があります。

※サービス業種については別途募集します。

※業態・想定店舗面積は、検討中の内容につき変更となる場合があります。

※キッチンカーは、6 エリアにて合計24台を想定します。

## 一次公募店舗のご案内

営業参加店舗は段階的に公募を行います。今回は一次公募の募集です。



### 飲食店舗

世界中から来場される賓客のおもてなしや、万博のコンセプトやテーマを体現するシンボルとなる飲食店舗を募集します。

	種類（カテゴリー）	総数	
		店舗数	店舗面積
①	ラウンジ&ダイニング	1	999.1㎡
②	EARTH TABLE～未来食堂～レストラン	6	651.1㎡
③	サステナブルフードコート	1	1,913.2㎡
	飲食店舗合計	8	3,563.4㎡



### 物販店舗

大阪・関西万博にふさわしい日本全国や地域の品を取り揃えた物産店を募集します。

	種類（カテゴリー）		総数	
			店舗数	店舗面積
④	JAPANマルシェ		6	315.1㎡
		（厨房設定可能）	2	91.6㎡
⑤	KANSAIマルシェ	（厨房設定可能）	1	354.0㎡
	物販店舗合計		9	760.7㎡

※業態・想定店舗面積は、検討中の内容につき変更となる場合があります。



## 二次公募店舗のご案内



### 飲食店舗

大勢の来場者に対応できるレストラン／カフェテリア、フードコート、カフェ、ファストフード、キッチンカーを募集します。

種類（カテゴリー）	総数	
	店舗数	店舗面積
レストラン／カフェテリア	10	3,639.3m <sup>2</sup>
フードコート	3	2,908.2m <sup>2</sup>
カフェ	10	2,496.9m <sup>2</sup>
ファストフード	8	1,704.5m <sup>2</sup>
キッチンカー	24	6 エリア
飲食店舗合計	55	10,748.9m <sup>2</sup>



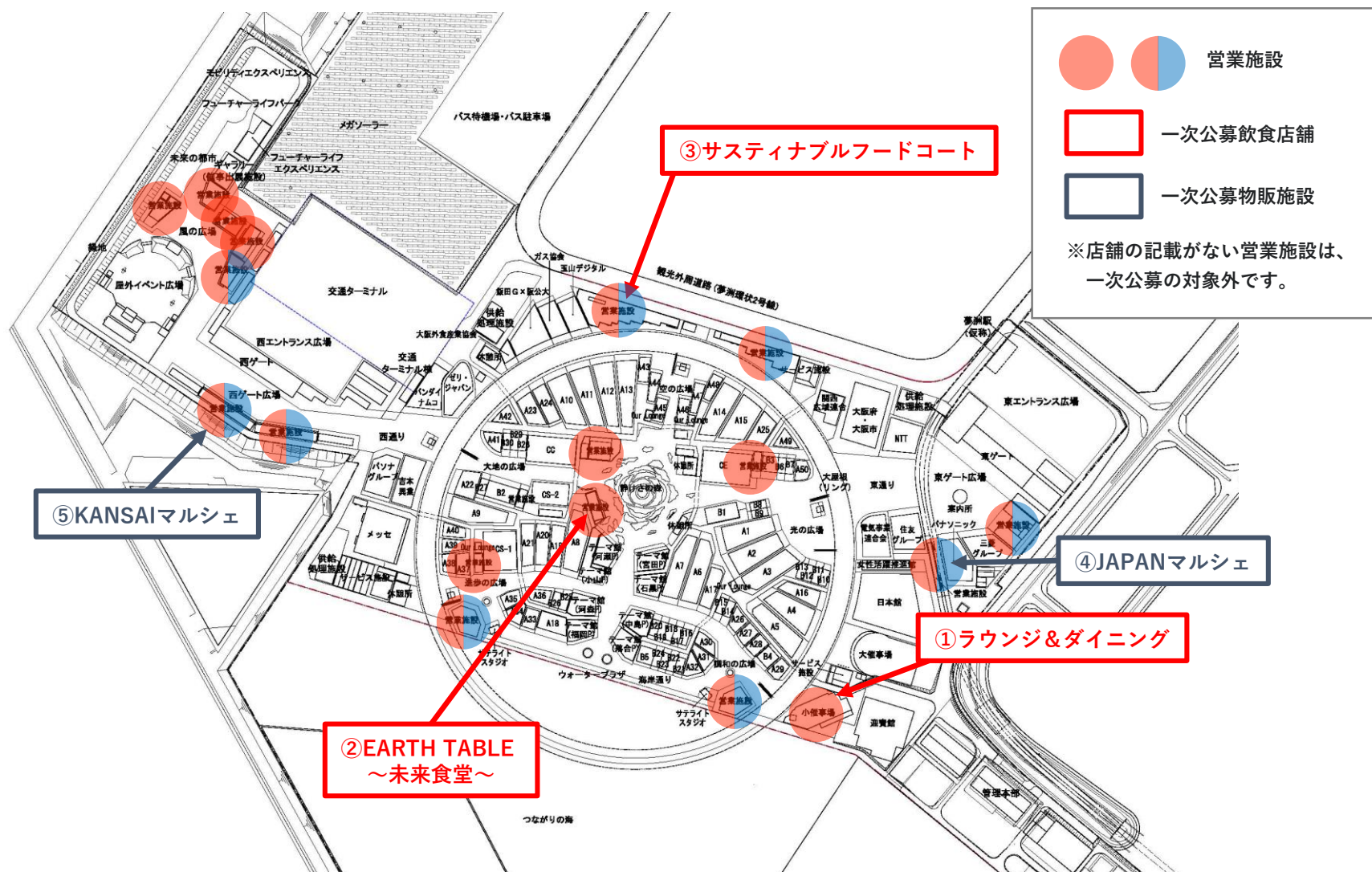
### 物販店舗

お土産ニーズに対応した各種の物販店舗、コンビニエンスストアを募集します。

種類（カテゴリー）	総数	
	店舗数	店舗面積
各種ショップ	8	1,070.3m <sup>2</sup>
コンビニエンスストア	4	647.3m <sup>2</sup>
物販店舗合計	12	1,717.6m <sup>2</sup>

※一次公募にて選定された店舗数により二次公募の店舗数が変更になる場合があります。

## 一次公募対象の営業施設配置

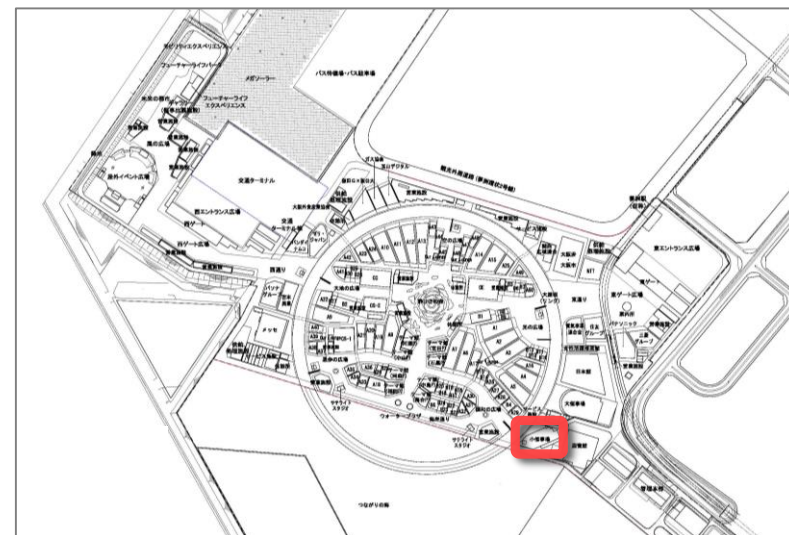


## 一次公募営業店舗【飲食】①ラウンジ&ダイニング

博覧会における日本・世界の食文化の代表的なシーンを、快適でエレガントな空間の中で演出し、ハイレベルなサービスとともに提供する「特別な空間」。世界各国から訪れる招待客や賓客の接待、会食に利用できるグレードと利便性を併せ持つダイニングです。プライベート感のある個室では旬の食材を活かしたコース料理を提供、またビュッフェ形式の客席や対面カウンターでは賓客の利用以外に一般来場者もハイクオリティな食事が楽しめます。



※パースはイメージです



<面積>

999.1m<sup>2</sup>

<利用者想定>

協賛企業のトップ、海外・国内来賓、協会・公式参加・企業参加の関係者、一般来場者（事前予約制）など

<客単価想定> ※協会が想定する平均価格であり、応募提案時の目安として下さい

昼：5,000円、夜：10,000円、カフェタイム：2,500円程度

<客席数>

約300席の配置計画をお願いします。

COMING SOON

ラウンジ&ダイニングの公募開始は近日中を予定しています。  
詳細は協会ホームページをご確認ください。



## 一次公募営業店舗【飲食】 ②EARTH TABLE ～未来食堂～

テーマ事業プロデューサーである小山薫堂氏のシグネチャーパビリオンの近隣にある、食の常識が大きく変わるこれからの食環境や食べる価値についての見直しができるような未来志向の飲食ゾーン。6区画が横丁形式に並び、さまざまな未来を想起させる飲食の新業態集積により、来場者に新体験による驚き・楽しさと共に食についていま一度考える機会を提供します。

小山薫堂氏がコンセプトを策定

コンセプト

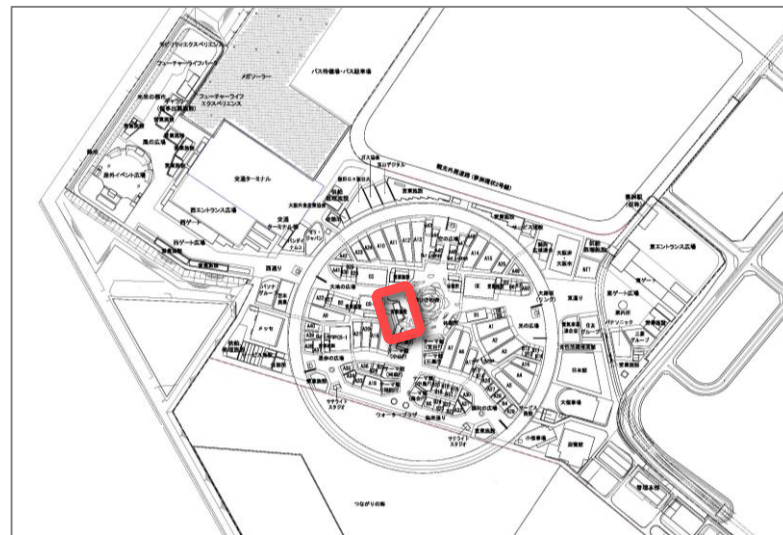
「EARTH TABLE ～未来食堂～」

今の子供たちが大人になる、遠くない未来を想定。

現代の当たり前が大きく変わる食環境や、その中で変わらないことを踏まえ  
食べるという価値について見つめ直し、体感する飲食街。

ご提案いただきたい業態

- ✓ 今ある業態（カフェ、デリ、すし、ファミリーレストラン等）の未来のメニューや体験を表現した飲食店の提案
- ✓ 食文化の多様性や食を通じて世界との繋がりを体感できる飲食店の提案
- ✓ これまでにない食材を活用した飲食店の提案
- ✓ 最新技術を駆使することで体験価値を刷新させた飲食店の提案
- ✓ SDGsを達成した未来を想起させる飲食店の提案



<区画数・面積>

6区画

1区画面積107.3㎡～111.0㎡、合計面積651.1㎡

<客席数>

各区画とも、40席以上の配置計画をお願いします。

<応募条件>

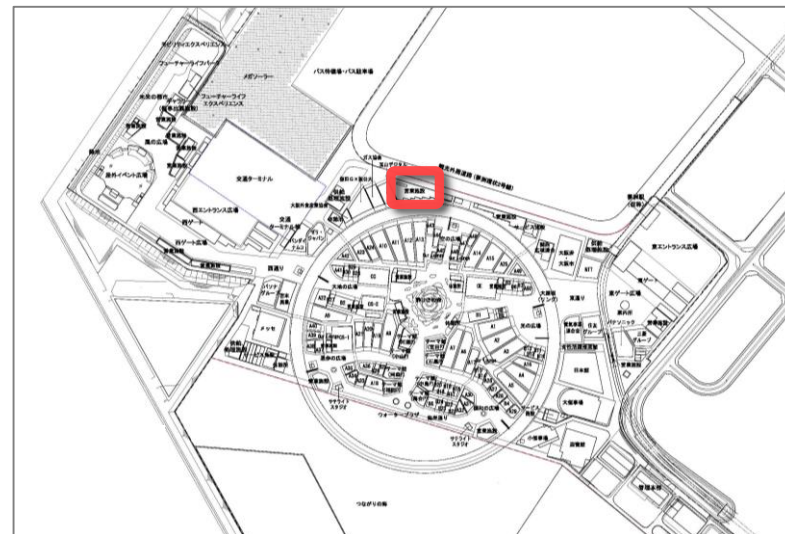
6区画に分けて多様な業態を募集しますが、最大6区画まで複数の応募も可能です。

## 一次公募営業店舗【飲食】③サスティナブルフードコート

ロボットとヒトが協働するミライの社会を映し出す次世代の飲食店モデルとして本万博のシンボル事業と位置づけるフードコートです。万博以降の外食業界のAI化の本格稼働によりフードロスの削減や持続可能性、省人化等に大きく貢献することをめざし、利用するだけで社会貢献につながる博覧会ならではのスペシャルな飲食体験を提供します。



※パースはイメージです



### <面積>

客席・厨房合計 1,913.2㎡+屋外席

ロボット区画 50.2㎡

### <客席数>

約1,000席の配置計画をお願いします。

### <応募条件>

本店舗は万博全体で推進する未来社会ショーケース事業のスマートモビリティ万博「ロボット」の実証実験の一環として、今後協会が選定する最先端のロボットを使用して、運営を実施頂くことが応募の条件となります。

## 一次公募営業店舗【物販】④JAPANマルシェ

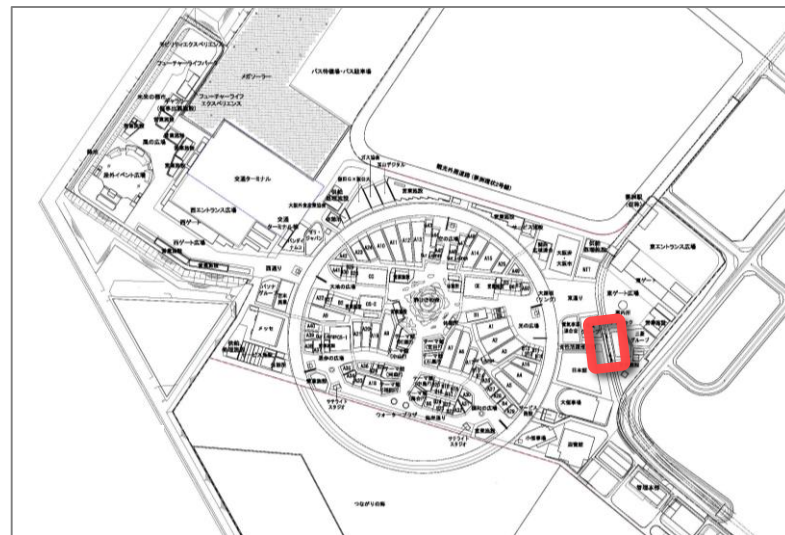
関西一円からの来場者が多い東ゲートから入ってすぐのロケーションで、日本各地の食・文化や歴史などの地域性を感じながら地産品や工芸などの買い物やスナックフードを楽しんで頂く横丁形式のマルシェです。全国を8つの地域に分けて各地のローカルな魅力の情報発信によりにぎわいを創出します。

テーマ 日本各地の特産品の発信

地域の設定 北海道、東北、関東、北陸信越、中部、中国、四国、九州・沖縄の8つの地域に分けて各区画ごとに事業者を募集。



※パースはイメージです



### <区画数・面積>

8区画

1区画面積 39.1㎡～52.5㎡、合計面積406.7㎡

### <応募条件>

8区画のうち2区画は厨房の設置により軽飲食の販売も可能。全国を8地域に分けて募集しますが、最大8区画まで複数の応募も可能です。

- ①北海道
- ②東北（青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県）
- ③関東（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県）
- ④北陸信越（新潟県、富山県、石川県、長野県）
- ⑤中部（福井県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県）
- ⑥中国（鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県）
- ⑦四国（徳島県、香川県、愛媛県、高知県）
- ⑧九州・沖縄（福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県）



## 一次公募営業店舗【物販】⑤KANSAIマルシェ

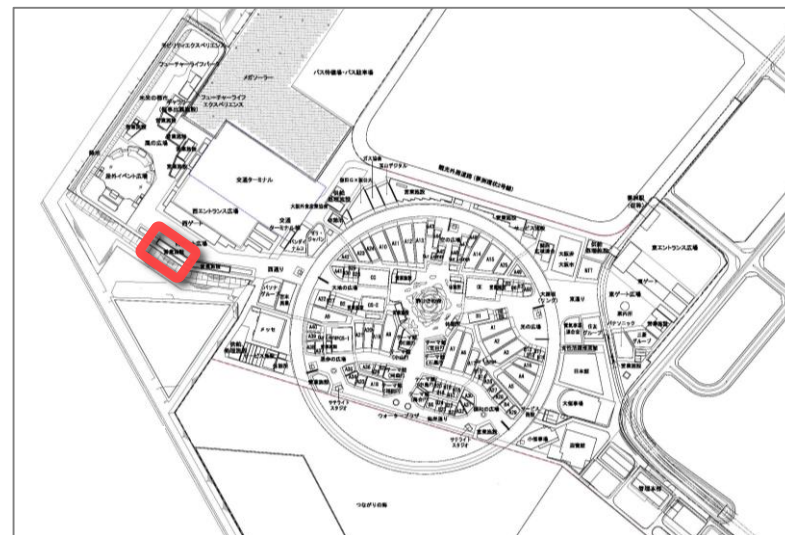
シャトルバス乗降場や駐車場に隣接して国内広域や海外からの来場者が多い西ゲート前のロケーションで、関西の地域性と食・文化を発信する物産品やスナックフードを集積。万博のご当地大阪ならびに関西各地の豊かな名産品を揃えた、にぎわいのあるマルシェです。

テーマ 「大阪・関西」を買う、食す

地域の設定 近畿2府4県（大阪府・京都府・滋賀県・奈良県・和歌山県・兵庫県）の物産品を単一事業者で運営



※写真はイメージです



<面積>

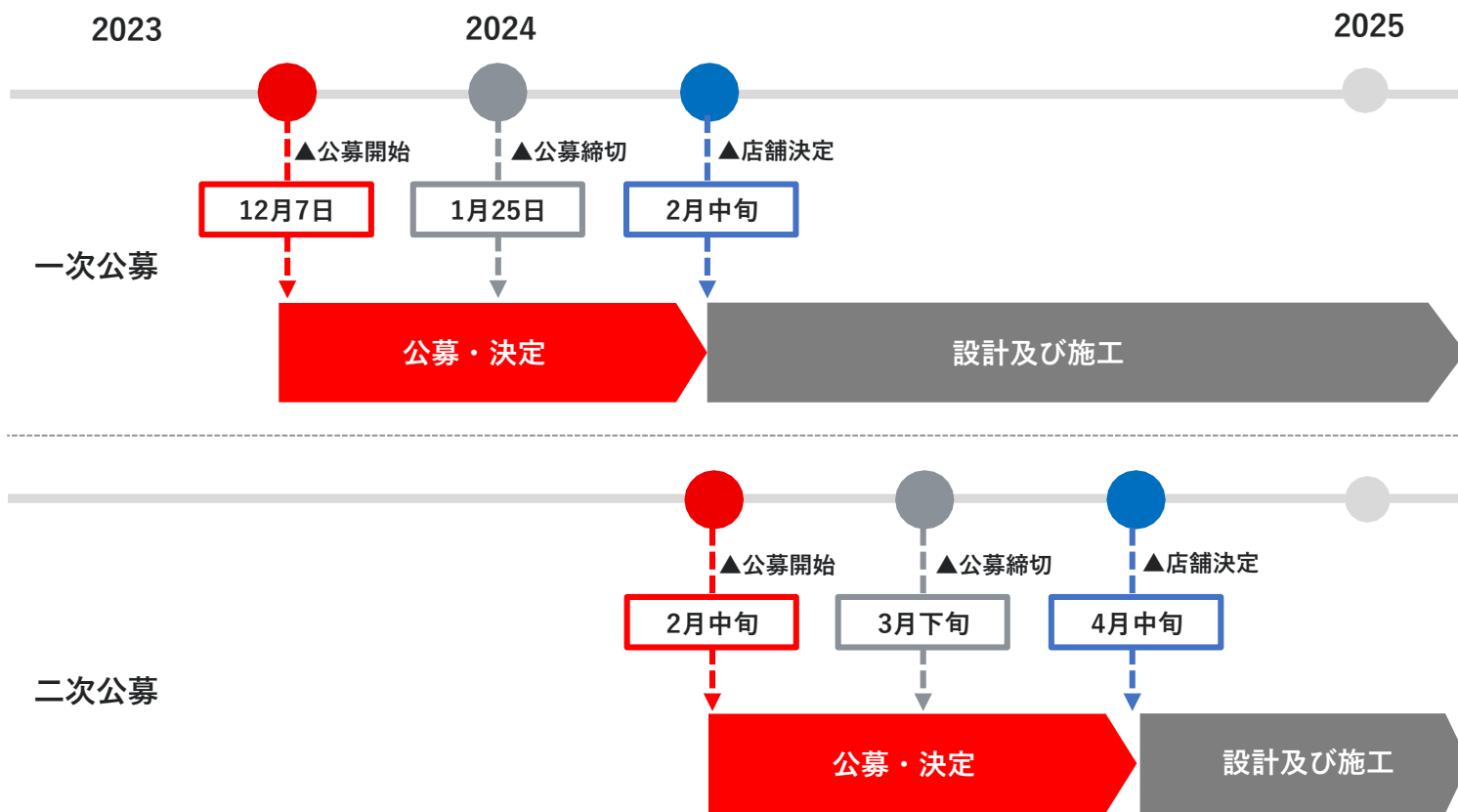
354.0㎡

<応募条件>

近畿圏のバラエティ豊かな物産を取り扱うことができる、単一事業者（団体、連合体も可能）での応募を条件とします。

厨房の設置が可能のため、箱菓子などの物販のほかテイクアウトのスナックフードも販売可能です。

## 公募スケジュール



※会場内4カ所のオフィシャルストアの公募は一次公募と同時期に実施予定です。

※一次・二次公募以外に募集する案件（サービス業種など）もあります。

なお最新情報の公表は、当協会ホームページ（<https://www.expo2025.or.jp/>）で随時お知らせします。

その他新たな公募を開始する際は、当協会ホームページでお知らせしますので適宜ご確認ください。



## お問合せ先

ご質問等は下記アドレス宛にメールでご連絡をお願いします

公益社団法人 2025年日本国際博覧会協会

メールアドレス : [eigyousanka@expo2025.or.jp](mailto:eigyousanka@expo2025.or.jp)